はじめにお読みください。

こんなときは	ご確認ください	対応
商品内容が記載と異なる	●本取扱説明書に記載してありますセット内容と現品をご確認ください。	不足等があった場合は、新しい商品とお取替えいたします。 下記連絡先までご連絡ください。
注入容器から インクが漏れている	●箱や注入容器に損傷はありませんか？ ➡運送上の破損の可能性があります。	新しい商品とお取替えいたします。下記連絡先までご連絡ください。
	●箱や注入容器に損傷がないのにインクが漏れていましたか？	新しい商品とお取替えいたします。下記連絡先までご連絡ください。
注入後のカートリッジから インクが漏れている	●インクのなくなったカートリッジを長期間放置されませんでしたか？ ➡カートリッジの中でインクが固まってしまっており、きちんと充填できていない可能性があります。	新しい純正カートリッジをお買い求め頂き、それを使い切ってから弊社詰め替えインクをご使用ください。
	●ノズル部または注入口からインクが漏れていませんか？ ➡カートリッジ内にインクを充填しすぎている可能性があります。	ペーパータオルかティッシュペーパーの上にインクカートリッジのノズル部を下にして2～3分置き、余分なインクを吸収させてください。
印字中のカートリッジから インクが漏れている	●注入後のカートリッジからインクは漏れていませんでしたか？	上記「注入後のカートリッジからインクが漏れている」場合をご確認ください。
	●詰め替え回数はオーバーしていませんか？ ➡詰め替え限度回数を超えての使用はインク保持力が低下するため、本取扱説明書に記載してある「つめかえ限度回数」をご確認ください。	詰め替え限度回数を超えたカートリッジには詰め替えインクはご使用にならないでください。詰め替え限度回数を超えたカートリッジは破棄していただき、新しいカートリッジをご使用の上、詰め替えを行ってください。
うまく印字ができない	●他社の詰め替えインクを既にお使いではありませんか？ ➡そのインクが残っていた場合、不具合が発生する可能性があります。	パッケージに記載の純正インク以外とは互換性はありませんので決してご使用にはならないでください。
	●印刷面にインクが漏れていませんか？ ➡カートリッジからインクが漏れていると、印字不良だけでなく、プリンタの故障の原因ともなりますので、充分ご注意ください。	上記「注入後のカートリッジからインクが漏れている」「印字中のカートリッジからインクが漏れている」場合をご確認いただき、適切な処置を行った後、セルフテストを行って動作確認をしてください。
	●カートリッジからインクは供給されていますか？ ➡長期間プリンタをご使用になられていない場合、インクが中で固まっている可能性があります。	プリンタのヘッドクリーニングを実施し、セルフテストを行ってください。それでもインクが供給されない場合、新しいカートリッジでプリントテストを実施してください。
	● 純正カートリッジを使用し、詰め替えを行いましたか？	本品は純正メーカーカートリッジ以外には対応いたしません。
	● プリンタの位置調整は行いましたか？	セルフテストを行い印字が安定するかどうかご確認ください。
	●カートリッジをプリンタから外したまま長期間放置していませんでしたか？ ➡プリンタヘッドに残ったインクが固まっている可能性があります。	カートリッジをプリンタから取り外して保存する場合は、プリンタに付属のカートリッジケースにセットして保存してください。
色合いがおかしい	●インク注入量は適量を入れましたか？ ➡詰め替え時にインク同士が混ざり合っている可能性があります。	プリンタのヘッドクリーニングとセルフテストを繰り返して印字状態を安定させてください。
	●画面上の色合いと異なっていますか？ ➡ソフトの設定や、画面の調整によっては、画面上のカラーと実際の印字カラーは異なることがあります。	ソフトやディスプレイの設定を確認してください。
	● 純正インクで印字した場合と色合いが異なっていますか？ ➡本品は純正インクは使用しておりません。同等の色合いを実現させておりますが、若干の色の差異が発生する場合があります。	プリンタの位置調整を印刷し、異常が無いか確認してください。異常がある場合は、ヘッドクリーニングを行って印字を安定させてください。
手などにインクが付着した	● インクの付着による人体への影響はありません。	石鹸やぬるま湯等で優しく汚れを落としてください。
誤ってインクを飲み込んでしまった		無理に吐き出さないで、直ちに本品を持参の上、医師の診断を受けてください。
インクが衣服に付着してしまった	● インクは衣服に付着すると洗浄が困難です。	衣服の素材に合った方法でしみ抜き等をお試しください。

※詰め替えインクをご使用になられたプリンタは、メーカーにて不正改造に当たると判断される場合があります。不具合が発生した場合、まず弊社にご連絡いただけますようお願い申し上げます。
※インク詰まり等が発生し、印字がきちんと出来なくなった場合、別のカートリッジで印字テストを行ってください。プリンタ本体の故障でない場合、カートリッジ交換とセルフテストを行えば印字は復活します。
その場合、上記事項をご確認いただき、不具合を確かめてください。

■上記以外の不具合が発生した場合及びご不明な点は、下記までご連絡ください。

商品に関するお問い合わせは
エレコム総合インフォメーションセンター **TEL.03-5337-3024** 受付時間 9:00～12:00 13:00～18:00 **年中無休**

HR570-0680A

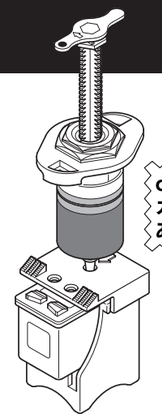
AROUND THE PC
ELECOM

インクジェットプリンタ用
詰め替えインク
THR-027H

取扱説明書

HEWLETT PACKARD
NEC/SONY

c6657a(HP/NEC用)
EPI-70C(SONY用) **カラー**



c6657aとEPI-70Cのカートリッジは互換性がありません。

この説明書をよく読んで正しく作業してください。

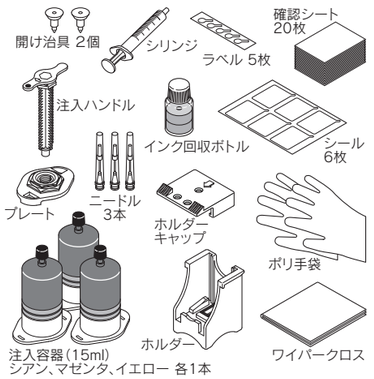
詰め替え作業の前に
長期間プリンタをお使いになっていない場合、詰め替えを行う前に印字ができるかどうか必ず確認してください。

●詰め替えるタイミングについて
印刷時に以下のようになりましたら詰め替えを行ってください。
全く印刷されない場合：手順に従って詰め替えを行ってください。
印刷がかすれた場合：数回クリーニングを繰り返してください。さらに印字かすれがひどいようでしたら、手順に従って詰め替えを行ってください。
インク残量表示は目安であり、インク量が減った表示になっても相当量印字できます。詰め替えタイミングは印字かすれの有無にて判断してください。

事前にご用意いただくもの
●**ペーパータオル** 汚れ防止のため下敷きに使用します。
●**ティッシュペーパー** インク吸収及び拭き取りに使用します。

セット内容

注入容器（シアン）15ml	1本
注入容器（マゼンタ）15ml	1本
注入容器（イエロー）15ml	1本
ニードル	3本
ホルダー	1個
ホルダーキャップ	1個
プレート	1個
注入ハンドル	1個
開け治具	2個（1個予備）
シリンジ	1本
インク回収ボトル	1個
確認シート	20枚（5枚予備）
ラベル	5枚（1枚予備）
シール	6枚（2枚予備）
ポリ手袋	1セット
ワイパークロス	1枚
取扱説明書（本紙）	1枚



⚠ ご使用及び保管に関しての注意

使用上の注意
●他社の詰め替えインクをご使用になられたカートリッジには、本製品は使用しないでください。
●インクがついてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなりますので、すぐに石けんや水で洗い流してください。
万が一、インクが目に入った時は、直ちに水で洗い流し、眼科医の診断を受けてください。
●対応カートリッジ以外には本製品を使用しないでください。
●ご使用の際には必ず取扱説明書をよく読んでから、詰め替え作業を行ってください。
●空のまま、長時間放置したカートリッジには、使用しないでください。

保管上の注意
●直射日光の当たる場所を避け、冷暗所に保存してください。
●カートリッジインクは飲み込むと人体に有害です。お子様の手の届かない場所に保管してください。
万が一、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の診断を受けてください。
●長期間使用されなかったインクは、変質することも考えられますので、できるだけ1年以内にご使用ください。

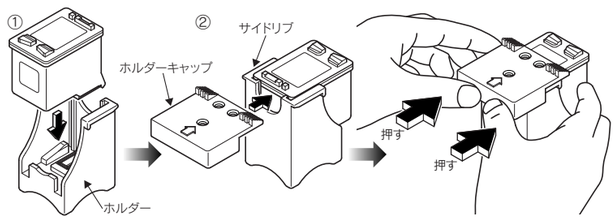
REFILL INK KIT
for HP/NEC/SONY

Open

インク詰め替えの手順

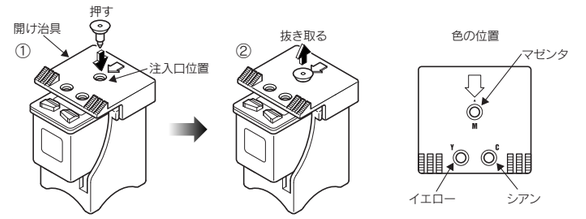
1 カートリッジをホルダーにセットする

①カートリッジの向きを確認し、ホルダーの中にカートリッジを入れます。
②ホルダーキャップをホルダーのサイドリブにはめ込むようにしスライドさせ、ホルダーキャップが止まるまで押し込みます。



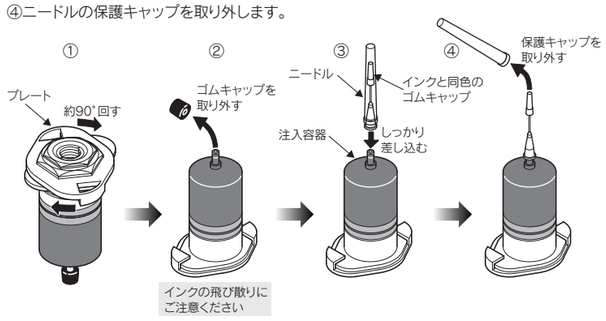
2 注入口位置を開け治具で開けます

①詰め替えたい色の注入口位置に開け治具を止まるまで差し込みます。
②止まったら開け治具を抜取ります。



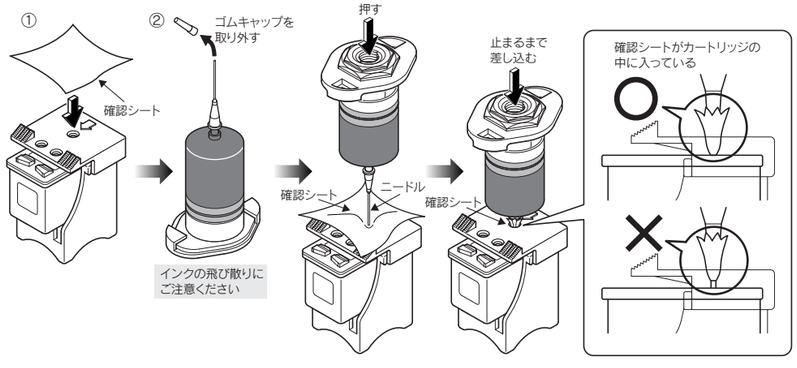
3 注入の前準備をします

①プレートを注入したい色の注入容器の上に載せ、「カチッ」と音がし、止まるまでプレートの
　み約90°時計回りに回し、セットします。
②プレート側を下にし、注入容器を立て、ゴムキャップを取り外します。
③ニードルを注入容器の先端にしっかり差し込み取り付けます。
④ニードルの保護キャップを取り外します。



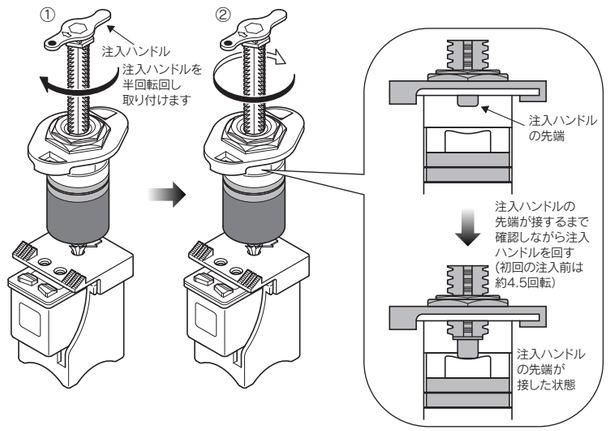
4 注入容器をセットします

①確認シートを注入口の上に置きます。
②注入容器のゴムキャップを取り外し、注入口位置を間違わないようにし、ホルダーキャップの注入したい色の注入口へ確認シートの上からニードルを止まるまで差し込みます。

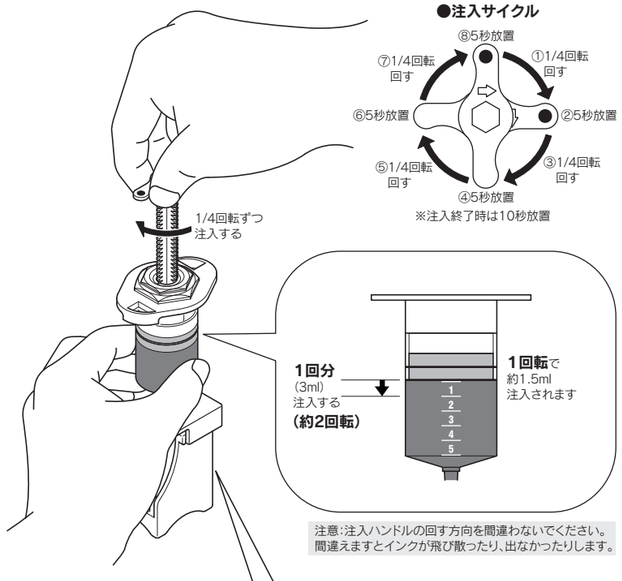


5 インクを注入します

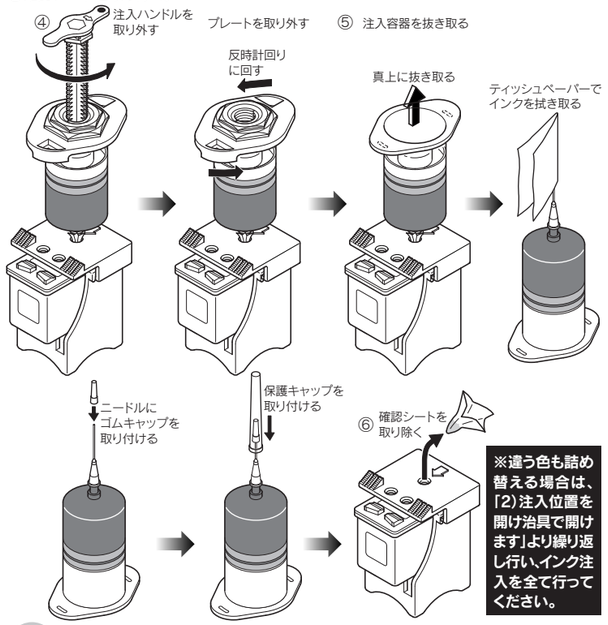
①プレートに注入ハンドルをねじ回しの要領で半回転回し、取り付けます。
②注入容器の側面より確認し、注入ハンドルの先端が接するまで注入ハンドルを回します。
（初回の注入前は約4.5回転で接します。）



③注入容器側面の目盛りと確認シートのインクにじみをを見ながら、白線まで注入ハンドルを1/4回転し、5秒放置を繰り返して、インクを注入します。（1回分の注入量は約2回転です。）
（確認シートにインクがにじんできたら白線位置の3mlを注入していなくても、この作業を終了してください。カートリッジ内に残インクがあり、適量注入されております。）
注入が終わりましたら、その状態で10秒放置してください。



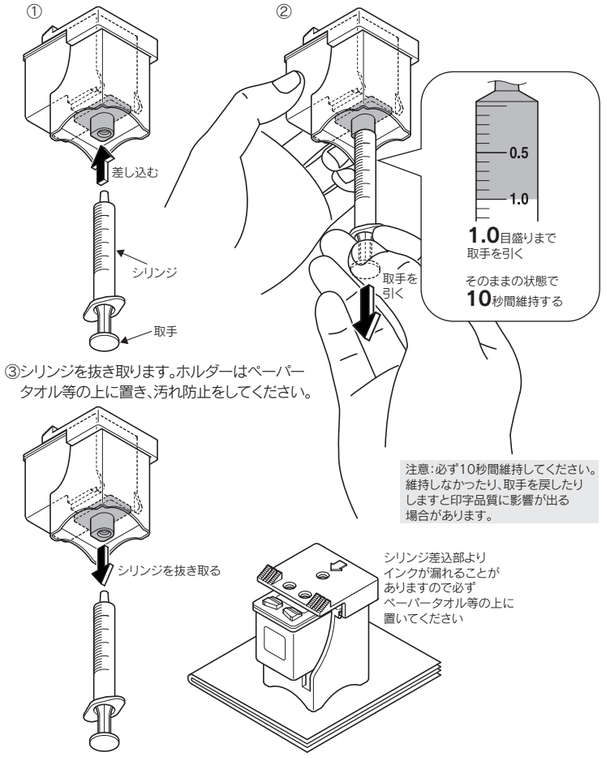
④注入ハンドルのみを反時計回りに回し、取り外してからプレートを取り外します。
⑤静かに注入容器を抜き、ニードル部に付着したインクをティッシュペーパーで拭き取ってください。ニードルゴムキャップをしっかり差し込み、保護キャップを取り付けてください。
⑥確認シートを取り除く。



※違う色も詰め替える場合は、「(2)注入位置を開け治具で開けます」より繰り返し行い、インク注入を全て行ってください。

6 インク・空気の抜き取りをします

印字を安定させるためにインク・空気の抜き取りを行います。
①ホルダーの底ゴム部の穴にシリンジの先端を差し込みます。
②シリンジの取手を下方に引き、1.0目盛りまでインク・空気を抜き取ります。
　シリンジを引いた状態で10秒間維持してください。

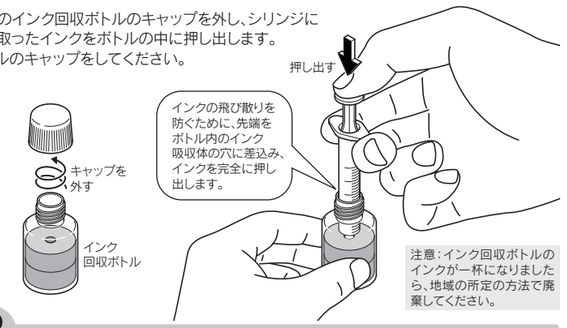


注意：必ず10秒間維持してください。維持しなかったり、取手を戻したりしますと印字品質に影響が出る場合があります。

③シリンジを抜き取ります。ホルダーはペーパータオル等の上に置き、汚れ防止をしてください。

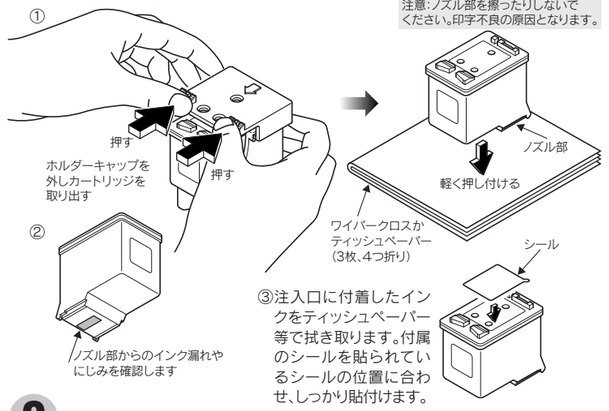
7 抜き取ったインクをボトルに回収します

付属のインク回収ボトルのキャップを外し、シリンジに
抜き取ったインクをボトルの中に押し出します。
ボトルのキャップをしてください。



8 付着インクの除去　カートリッジ天面にシールを貼り付ける

①ホルダーよりカートリッジを取り出し、ノズル部を付属のワイパークロスかティッシュペーパーの上に軽く押し付け、ノズルについているインクを取ります。
②カートリッジのノズル部からインクが漏れていないか、にじみ出てこないか確認してください。漏れやにじみがある場合は、2分間ほど、ワイパークロスかティッシュペーパー（3枚、4つ折り）の上に再度置いてください。



③注入口に付着したインクをティッシュペーパー等で拭き取ります。付属のシールを貼られているシールの位置に合わせ、しっかり貼付けます。

9 プリンタにセットします

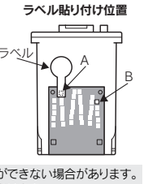
プリンタにカートリッジをセットし、プリンタの取扱説明書に従って、クリーニングと印字確認を行ってください。
印字が安定しない場合は、クリーニングと印字確認を交互に行ってください。5回までクリーニングをしても安定しない場合は、「6)インク・空気の抜き取りをします」から繰り返してください。

※2回目以降の詰め替えについて
天面注入口のシールを剥がし、カートリッジをホルダーにセットし、「3 注入の前準備をします」からの作業を行ってください。

インク残量表示復帰方法

インク残量表示のインク量表示を満タンにする方法です。
この作業を行わなくても詰め替え及び印刷に支障はありません。

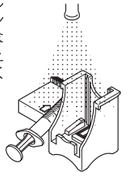
手順
①銅製の電極部分Aにラベルを貼り付けます。
②プリンタにセットします。プリンタが停止しましたらカートリッジをはずします。
　（この時、エラーメッセージが出ますが無視して作業を続けてください。）
③①で貼ったラベルを剥がし、そのラベルを銅製の電極部分Bに貼り付けます。
④プリンタにセットします。プリンタが停止しましたらカートリッジをはずします。
　（この時、エラーメッセージが出ますが無視して作業を続けてください。）
⑤ラベルを剥がします。
⑥プリンタにセットし完了です。



注意：違う電極に張り付けないでください。印刷ができない場合があります。
また黒カートリッジとは貼り付け位置が異なります。

器具の洗浄について

インクで汚れたホルダーやシリンジ等は使用後水洗いと乾燥を行って保管してください。そのままにしておきますとインクが落ちづらくなり、次回詰め替え作業がやりづらくなります。



詰め替え限度回数について

詰め替え限度回数は5回です。これ以降の詰め替えはしないでください。新しいカートリッジをご購入ください。
ただし、上記回数は目安であり、お客様のご使用状況により上記回数まで詰め替えできない場合もあります。
詰め替え回数が確認できるよう、油性ペン等でカートリッジに回数を書き込んでおくと次回詰め替えるとき便利です。

トラブル発生時は裏面のトラブル対応をご確認ください。